



学校だより

令和6年 1月 9日
東京都立小平特別支援学校
校長 阿部 智子

肢体不自由教育部門 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門・武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

1月1日の令和6年能登半島地震でお亡くなりになった方々、1月2日の羽田空港で地震の被災者に救済物資を届けようとして航空機事故でお亡くなりになった方々にお悔み申し上げますとともに、被災された方々、事故の関係者の皆様へ、お見舞いを申し上げます。

元日16時過ぎの地震は、座っているとゆっくりとした揺れを体感しました。テレビでは地震の速報が流れ、津波警報のアナウンスが切迫感をもって発せられていました。東京の自宅に居るからこそ、このように冷静に文章に記すことができているのですが、「東日本大震災を思い出してください!」というアナウンサーの声にドキッとしたのは事実です。災害はいつ起こるか分からない。どこで起こるか分からない。「怖い」という言葉だけで語ってはいけません。現実を直視しながらも、不安にならないように子供たちをしっかりと守っていかなければならないという決意をもって新学期を迎えました。

「どのような1年にしていくか…。」

【令和6年 私の一字】

今年の私の一字は「調」(ちょう・しらべる・ととのう)です。小学校3年生で習う漢字200字の一つです。調和、調整、順調、好調、調べる、調査などという熟語があります。

去年の私の漢字は「動」(どう・うごく)でした。去年は、考えて動く、前に進む、変化させていく。そういう気持ちをもって動いていました。今年は「しらべる」「ととのえる」「物事のつり合いがよくとれる」という漢字です。本当にこれでいいかな?としっかり調べて勉強して、物事の調和を考えて動く。そういう1年にします。「皆さんは今年1年をどのような年にしたいですか?あなたの今年の目標を漢字1字で表すと何ですか?」漢字を覚えるときに、形で認識する人もいれば、意味や歴史を学ぶと覚えやすいという人もいます。「覚える」ということ一つとっても人それぞれ、生き方や考え方もそれぞれです。「それでは、あなたは1年をどのように過ごすのか。自分のベースになるものをどこに置くのか。言葉で記しておこう!」1年の初めに児童・生徒にこのような話をしました。

【学校間交流の意味するもの】

12月は、小学部の学年ごとの学校間交流が目白押しで、小平市立小平第六小学校、小平第十三小学校の児童が、本校のアリーナ(体育館)に来てくれて、一緒に踊ったり、ゲームをしたりと実際に顔を合わせて交流をしました。

地図上では御近所に位置する2つの小学校ですが、コロナ禍もあり、校舎内というより敷地内にも入ったことはないと手を挙げている各小学校の児童は最初、戸惑いもあったかと思います。しかし、初めて校内に入り、スロープをのぼり、アリーナ(体育館)での交流を同学年の本校の児童と共に楽しむことができました。同じ地域に住まう子供たちが大人になった時に、学齢期にこのように交流をしたことの記憶をお互いにもっていてもらいたい。なぜならば、災害が起こった時には地域で助け合うことは必然です。「今日」だけの交流ではなく、「明日」のための交流なのだという気持ちで、我々教職員もしっかりと連携して、新たに根付かせていかなければならないのです。

【小6⇒中学部1日入学、中3⇒高等部入学相談】

1月は、次年度に向けてのいろいろな準備が始まる時期です。お知らせしているとおり、1月18日(木)小学部6年生は、中学部1日入学があります。高等部の入学相談は1月31日(水)です。

同じ校舎内ではありますが学部が変わって進学することについて、御家庭でもぜひ、話題にしていただければと思います。特に義務教育を終えての高等部への進学は、願書提出から入学相談を経て、合格発表までの流れの中で、自分で進学を決めたのだという気持ちをもって、1月から少しずつ準備を進めていきます。小学部、中学部、高等部それぞれの学部で3月の卒業式に向けての学習や練習も本格的になってきます。3学期は1年のまとめをするとともに次のステップに進んでいくための大切な時期です。御協力の程、よろしく願いいたします。

校長 阿部 智子